

H30 博士ビジョナリープロモーション

(イノベーションリーダー育成プログラム)

研究力、
価値創造力、
そして未来に栄え続けることができる力（ビジョナリー）

東京農工大学GIR院イノベーション推進機構

Innovation Advancement Organization

●目的

①日本における科学技術の

イノベーション創出の活性化のため

②大学の研究開発成果を基にした

研究力を基軸とした価値創造 や、既存の企業による**新事業の創出**を促進する人材の育成。

●対象者

東京農工大学、電気通信大学、東京外国語大学
在籍中の博士課程学生、及び博士課程進学を検討中の学部生、修士学生、ポスドク、社会人

●受講料

無料(学生)

※社会人はお問い合わせください。

※農工大在籍学生の海外研修の旅費は、農工大の規程で補助されますが、それ以外の所属方については、お問い合わせください。

H30 博士ビジョナリー プロモーション

●概要

研究成果に基づく価値創造や国内外における企業の事業開発を推進、継続できる

博士人材イノベーションリーダー

の養成を目指します。

同時に、日本企業の海外展開推進、ニーズ創造型研究開発、大学の国際的な地位向上に繋げるため、国内外の大学、ベンチャーキャピタル、製造業、流通業、シンクタンク及び海外第一線のイノベーション推進機関と共にイノベーション・エコシステムを構築していきます。

Join us!

H30 博士ビジョナリー プロモーション



「イノベーション」とは新しい価値を世の中に提案し、その社会実現が達成されることです。さらにわかりやすく表現すれば、自分の研究成果、アイデア、信念とすることなどが社会に受け入れられるよう努力を積み重ね、最終的に大勢の人たちの喜びや、企業の継続的な利益、新たな社会システムの構築などに結びつくことです。どんなイノベーションでも一人で創出することは不可能です。仲間や周りと共に、最終的な到達地点までしっかり考え、目標に向かって努力していく姿勢を持つということです。

博士ビジョナリープロモーションは、企業の若手研究者も学生と一緒に講義を受け、グループワークに参加し、ともに時間を共有しながら学びます。講師、メンターともにその道のプロです。大学にいただけでは知り合う事はない、世代を超えた新しい仲間との出会いがあります。

人は人によって磨かれるもの。
新しい自分、新しい時代をつくる絶好のチャンスです。

イノベーション推進機構長 有江 力

●H30 博士ビジョナリープロモーション 予定表

※会場は、府中キャンパス連合農学研究科管理研究棟 4 回第 2 会議室

基礎講座

研究を社会に貢献する
イノベーションへ繋げていくため
に必要な基礎知識を学びます。
将来的に研究を基軸とした
起業ができるように、講座 8
で形成したチームで、ビジネス
プランを策定します。

※科学技術エコシステムフォーラムの参加要件：
講座番号1～10うち、8(必須)を含めて**4講座**以上出席
すること。
※※海外研修選抜の要件：
科学技術エコシステムフォーラムに参加すること。

基礎講座	講座番号	講座名	午前 (9:00-12:00)	午後 (13:00-16:00)
5月16日 (水)	1	イノベーション推進特別講義Ⅰ ※5/16は11:00～	有江 力 東京農工大学 農学研究院 教授 他	
5月17日 (木)	2		藤井 重孝 東京農工大学 客員教授	
5月29日 (火)	3	イノベーション推進特別講義Ⅱ	渡井 康之 東京農工大学 客員教授	
5月30日 (水)	4			
6月9日 (土)	5	グローバルリーダーシップ論	大島 良知 TECH on-the-line 代表 恵和株式会社 顧問	伊藤 義博 株式会社電通 ソリューション開発室 研究主席
6月20日 (水)	6	イノベーション推進特別講義Ⅲ	天野 裕 株式会社プレテック 代表取締役	
6月21日 (木)	7		徳永 毅 株式会社アースノート 代表取締役	
6月30日 (土)	8	科学技術・アントレプレナー特論	津田 真吾 INDEE JAPAN 代表取締役	二谷 貴夫 東京農工大学 客員教授
		チームビルディング		
7月14日 (土)	9	知的財産論	高原 千鶴子 高原特許商標事務所 弁理士 黒瀬 泰之 鷺頭国際特許事務所	
7月28日 (土)	10	ソーシャルイノベーション ワークショップ	渡邊 竜一 株式会社アジア・メディアプロ モーション 代表取締役	木村 悠貴 Korekore 代表 (H27EDGE受講生)
9月14日 (金)～ 9月15日 (土) ※二日間集中	***	科学技術エコシステムフォーラム(注1) 海外研修チーム選抜(注2)	若松 弘起 東京農工大学 イノベーション推進機構 特任助教 他	
11月7日 (水)	11	イノベーション推進特別講義Ⅳ	Charles Boliko 国際連合食糧農業機関 (FAO) 駐日代表事務所 代表	
11月8日 (木)	12			
11月28日 (水)	13	イノベーション推進特別講義Ⅴ	丹治 幹雄 構想日本 理事	
11月29日 (木)	14		難波 正憲 立命館アジア太平洋大学 名誉教授	
日程未定	海外研修1 (選抜)	カントー大学 (ベトナム)	・チームで派遣 ・事前学習(1～2日)に参加必須。日程は参加者で調整します	
日程未定	海外研修2 (選抜)	SRI International研修 (米国)	・チームで派遣 ・事前学習(1～2日)に参加必須。日程は参加者で調整します	
日程未定	海外研修3 (選抜)	UAE研修 (アラブ首長国連邦)	・チームで派遣 ・事前学習(1～2日)に参加必須。日程は参加者で調整します	
2月または3月	***	H30博士ビジョナリー成果報告会	・海外研修へ派遣されたチームが成果を発表	

H30 博士ビジョナリー プロモーション



基礎講座

研究技術を社会に役立てるために必要な法律や知的財産の専門知識等を、様々な分野の専門家から学びます。同時に、新規研究事業を牽引していくリーダーとしてのマインド醸成、人間力の形成を目指します。

ビジネスプラン策定

講座番号8でチームを形成し、チームでビジネスプランを策定します。研究シーズに基づいた提案のよってチームを形成し、多様な視点で検証を重ね、メンター指導の下、ビジネスプランを策定します。

エコシステムフォーラム※

より新規性、実現性、社会貢献度の高い価値の提案を目指し、エコシステムを構築していきます。科学的根拠にもとづいた提案について、大きな説得力を養います。

海外研修(選抜)※※

海外研修で、イノベーションリーダー研修（SRI International 研修）や海外大学と協同で、世界の市場をターゲットにしたビジネスアイデアを考えます。（カントー大学研修）

※科学技術エコシステムフォーラムの参加要件： 講座番号1～10うち、8(必須)を含めて4講座以上出席すること。

※※海外研修選抜の要件：科学技術エコシステムフォーラムに参加すること。

Innovation Advancement Organization

イノベーション 推進特別講義 I ~ V

イノベーション推進機構Ⅰ
(5月17日~18日)



東京農工大学
客員教授
藤井 重孝
東京農工大学
農学研究院 教授
有江 カ

専門分野の研究成果とその社会的な意義について多くの人々に理解してもらうためには、自分自身も専門外の分野について理解し、海外を含めた多様な連携関係を構築する必要があります。他分野を学び、他分野との融合を推進することによって、イノベーションが推進される重要性を学びます。

イノベーション推進機構Ⅲ
(6月20日~21日)

徳永 毅
株式会社アースノート
代表取締役



天野 裕
株式会社プレテック
代表取締役

イノベーション推進機構Ⅳ
(11月7日~8日 2日間集中講座)



国際連合食糧農業機関
(FAO)
日本事務所長
Dr.Charles Boliko

イノベーション推進機構Ⅱ
(5月29日~30日)



東京農工大学客員教授
渡井 康之

イノベーション推進機構Ⅴ
(11月28日~29日)



構想日本 理事
研究員 丹治 幹雄 他

グローバル リーダーシップ論

講座番号 5

6月9日(土) 9:00-12:00/13:00-16:00

研究を推進し、牽引するリーダーは、Diversity（多様性）を認め、多種多様な文化や言語、特長を持った人々を受け入れることができるコミュニケーション能力が不可欠です。この講義では、グローバルリーダーとしての意識を醸成する基盤を作ります。



株式会社電通
ソリューション開発室 研究主席
伊藤 義博



KEIWA Incorporated USA CEO
大島 良知

科学技術論

講座番号8

6月30日(土) 9:00-12:00

研究研究成果が、社会に認められる科学技術とその戦略を学びます。未来価値創造から社会実現に至るまでの『実践力』を持った研究リーダーを養成します。

INDEE Japan
代表取締役 テクニカルディレクター
津田 真吾 氏



チームビルディング

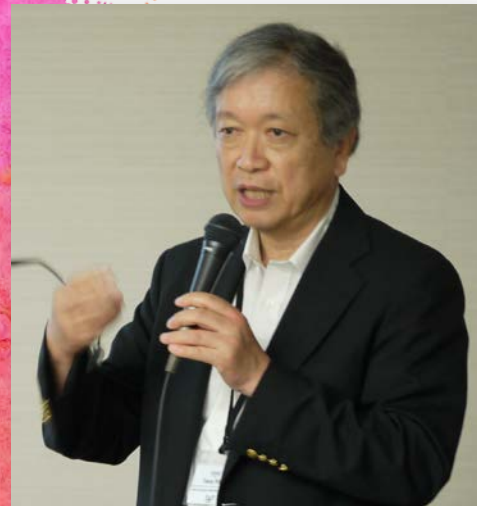
講座番号8

6月30日(土) 9:00-12:00

個人のビジネスプランやアイデアをプレゼンし、(1人5分)
「そのアイデアと一緒にやってみたい!」と賛同する
メンバーや「このプラン、くっつけたら面白そう!」など、
プランのコラボレーションが可能なメンバーを集めて
チーム形成します。

各チームにメンターを配置し、指導を受けながらプランの策定
を進めます。このチームで夏の間にグループワークを重ねて、
各チームのビジネスプランを9月14日~15日の「科学技術エコ
システムフォーラム」で発表します。

東京農工大学 客員教授
二谷 貴夫



ビジネスプラン策定

6月30日～9月15日

チームビルディングの後、9月14日～15日の「科学技術エコシステムフォーラム」まで、メンバーで日程調整のしながらミーティングを行い、ビジネスプランの策定を進めてください。

約2か月半の期間で、3～4回程度のメンター指導を受けることが出来ます。

ミーティングの頻度は各チームで話し合いの上決めることができますが、メンター指導を受けるためには、ある程度まで進んだプランを提示する必要がありますので、計画的に進めてください。



知的財産概論

講座番号9

7月14日(土) 9:00-12:00/13:00-16:00

研究を推進し、新しい価値を持ったイノベーションを創出する上で、知的財産権や産業財産権制度に関する知識は必要不可欠です。この講義では、特許の事例を学びながら価値を持った科学技術とは何かを考えます。

日本弁理士会
講師 調整中

ソーシャルイベント ワークショップ

講座番号10

7月28日(土) 9:00-16:00

実際の事例を挙げ、何が地域活性化の原動力となっているのか、そこにどう“ひと”が関与しているのか、地域行政や金融、メディア等の役割とは何かを考えます。

ある地域のまち（仮説）をどう活性化していくのかをテーマを決めて 検討、チームごとに討議・発表を行います。



株式会社メディアプロモーション
代表取締役 渡邊 竜一氏

科学技術エコシステム フォーラム(海外選抜)

日時：平成30年9月14日(金)～15日(土)

※2日間集中

場所：未定

【目的】

チームで取り組んできたプランやアイデアをブラッシュアップするために、専門家から構成する外部評価委員のフィードバックを受けながらプレゼンテーションを繰り返し行い、各チームのビジネスプランを発表します。外部審査委員による評価を行います。

高い評価を得たチームは、海外研修（SRI International (アメリカ)）又は、カントー大学（ベトナム）に参加する権利を得ます。※選抜されても参加は自由です。

※科学技術エコシステムフォーラムの参加要件： 講座番号1～10うち、8(必須)を含めて5講座以上出席すること。

※海外研修選抜の要件：科学技術エコシステムフォーラムに参加すること。 **Innovation Advancement Organization** 13



SRIインターナショナル研修 (選抜)

2018年12月初旬(予定) ※アメリカで実施予定

競争を勝ち抜くためには、イノベーションの創成を実現する必要があります。SRIのイノベーションプロセスである「SRIイノベーション5つの原則 (SRI Five Disciplines of Innovation®)」を活用することにより、再現性のある方法論に基づいてイノベーションの創成を実現できることが実証されています。この研修では、本学とSRIインターナショナルとで連携して作ったイノベーション創成のためのプログラムに参加します。

渡航前には、事前学習会があります。SRIからの事前課題やチームでのプレゼン等の準備が必要です。

※SRIは、米国スタンフォード大学が地域の経済発展を支える目的で設立した研究所です。現在では最も大きな研究所の一つです。



カントー大学研修（選抜）

2018年12月中旬予定 ※ベトナムで実施予定

国によってそのニーズやモノの価値が違います。世界に貢献するイノベーションを考える時、日本以外の国でのニーズや価値を知ることが必要です。カントー大学では、現地の学生と協同で、科学技術をベースにした「Business Idea Workshop」を実施します。※カントー大学は、農学分野ではベトナムで最も大きな大学です。東京農工大学の姉妹校の一つであり、これまでも多く学生間交流が行われています。

渡航前には、事前学習会(1日以上) があります。ワークショップのための事前課題やチームでのプレゼン等の準備が必要です。



UAE研修（選抜）

実施日程は未定 ※UAEと日本で実施予定

国によってそのニーズやモノの価値が違います。
世界に貢献するイノベーションを考える時、日本以外の国でのニーズや価値を知ることが必要です。
UAE研修では、UAEのニーズを見極め、科学技術をベースにしたビジネスプランの策定を、UAE大学の学生と合同で行います。この研修は、UAEを対象としたビジネスプランのチームのみがエントリー可能です。
また、UAEと日本、双方の現地での研修となります。

研修前には、事前学習会(1日以上)があります。ワークショップのための事前課題やチームでのプレゼン等の準備が必要です。

※UAE大学は、東京農工大学の姉妹校の一つであり、これまでも多く学生間交流が行われています。

※UAEと日本と双方の国で実施される研修に参加することが条件です。（UAEで行われる研修のみの参加は選抜対象外）

※他のプロジェクトと合同で実施されるプログラムです。



H30成果報告会

日時：平成31年3月予定

場所：未定

【目的】

チームとして海外研修後の最終的プラン、この事業の目的であるイノベーションリーダーとしての成長について発表します。外部評価委員、メンターともに講評をします。

※海外研修に参加した全チームが発表します。



How to apply

平成30年3月19日(月)～4月26日(金)13:00〆切

<http://www.tuat.ac.jp/outline/facility/innovation/>



1. HPから申請書をダウンロードし、記入する

※左記URLからイノベーションのHPへ、News&Eventsの

「H30 博士ビジョナリープロモーション参加者募集開始！」をクリック。

H30博士ビジョナリープロモーション予定一覧表と募集要項も確認できます。

積極的なご参加をお待ちしています。ただし、受け身の参加では意味がありませんので、概要や目的を理解して申請書に記入してください。

2. 申請書をイノベーション推進機構の事務室へ提出する(期限厳守)

(Office hour:月～金8:30～5:15)

※直接持参してください。その際10分ほど面談をしますので、予め、メール(innov@cc.tuat.ac.jp) か電話(042-367-5756)で在室を確認されることをお勧めします。

登録者向け オリエンテーション

平成30年 4月27日（金） 18 :
00～

@連合農学研究科管理研究棟4階
第2会議室

登録者でやむを得ず欠席される方はご連絡ください

東京農工大学 GIR院 イノベーション推進機構

場所：東京農工大学 府中キャンパス
連合農学研究科管理研究棟2階206室

電話：(042)367-5756/5637

Office Hour：Mon-Fri 8:30~17:15

Email: innov@cc.tuat.ac.jp

HP: <http://www.tuat.ac.jp/outline/facility/innovation/>

ご質問のある方は、遠慮なく
イノベーション推進機構までお問い合わせください。

